

災害減免措置を受ける方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、災害減免措置を受ける場合

税務署長 ○○ 平成 26 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A FA0110

住所 (又は居所) ○○市△△町x-xx-x

フリガナ 176190

氏名 国税 太郎

性別 男 世帯主の氏名 国税 太郎 世帯主との続柄 本人

平成27年1月1日の住所 同上

生年月日 3/46/1116 電話番号 xx-xxxx-xxxx

収入金額等		所得金額		所得から差し引かれる金額		税		その他	
給	与	給与	雑	社会保険料控除	小規模企業共済等掛金控除	課税される所得金額	(5)-(20)	配偶者の合計所得金額	41
7140000		5226000		0000		2652000		0000	42
				0000		167700		0000	43
				0000		83850		0000	44
				0000		83850		0000	45
				0000		1760		0000	46
				0000		85610		0000	47
				0000		171200		0000	48
				0000		00		0000	49
				0000		85590		0000	50
				0000				0000	51
				0000				0000	52
				0000				0000	53
				0000				0000	54
				0000				0000	55
				0000				0000	56
				0000				0000	57
				0000				0000	58
				0000				0000	59
				0000				0000	60
				0000				0000	61
				0000				0000	62
				0000				0000	63
				0000				0000	64
				0000				0000	65
				0000				0000	66
				0000				0000	67
				0000				0000	68
				0000				0000	69
				0000				0000	70
				0000				0000	71
				0000				0000	72
				0000				0000	73
				0000				0000	74
				0000				0000	75
				0000				0000	76
				0000				0000	77
				0000				0000	78
				0000				0000	79
				0000				0000	80
				0000				0000	81
				0000				0000	82
				0000				0000	83
				0000				0000	84
				0000				0000	85
				0000				0000	86
				0000				0000	87
				0000				0000	88
				0000				0000	89
				0000				0000	90

※ 復興特別所得税額⑤欄の記入をお忘れなく。

還付される税金のある方のみ記入

- 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- 申告書は、ボールペンで、強く記入します。
- 申告書の該当する箇所は必ず記入します。
- 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- この記載例では、「平成26年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを示しています。詳細については、「平成26年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」を参照してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中にていねいに記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

記入例②

記入例③

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。

(参考) 「給与所得の源泉徴収票」

平成26年分 給与所得の源泉徴収票												
支払を受ける者		住所又は居所 〇〇市△△町×-××-×				氏名 国税 太郎						
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の合計額	源泉徴収税額	控除対象配偶者又は控除対象扶養親族の有無等	配偶者特別控除額	控除対象扶養親族の額(配偶者を除く)	障害者の額(本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
給与・賞与	7,140,000	5,226,000	2,573,197	1,712,000					1,057,197	105,000	21,000	
控除対象配偶者又は控除対象扶養親族の有無等	○											
源泉徴収可能額	国民年金保険料等の金額		介護医療保険料の金額		90,000		配偶者の合計所得		新生命保険料の金額		25,000	
妻 良子	子 一郎 二郎(年少)		の途次・追徴		受給者生年月日		26		0		46 11 16	
住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇×-×-×				氏名又は名称		〇〇産業株式会社				(電話) ××-××××-××××	

損害の原因 火災
 損害年月日 平成26年12月17日
 損害を受けた資産 住宅、家財
 損害金額 2,600,000円
 保険金などで補填される金額 1,220,000円
 (差引損失額) 1,380,000円

※ 差引損失額が住宅や家財の価額の2分の1以上であるものとします。

手順1
13ページ参照

手順2
14ページ参照

32ページ参照

手順6
34ページ参照

平成26年分の所得及び復興特別所得の確定申告書A

住所 〇〇市△△町×-××-×
 氏名 国税 太郎

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	源泉徴収税額
給与	〇〇産業株式会社	7,140,000	171,200
所得税及び復興特別所得の源泉徴収税額の合計			171,200

雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

住民税に関する事項

扶養親族の氏名	続柄	生年月日	別居の場合の住所
国税 二郎	子	平成26.6.1	

給与・公的年金等に係る所得以外(平成27年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択

配当に関する住民税の特例

非居住者の特例

寄附金 都道府県、市区町村 寄附金 都道府県、市区町村

特別適用条文等

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。